

林産試験場におけるインターネット環境整備

山田 敦

はじめに

インターネットとは、世界130か国以上で数万のネットワークに250万台以上のコンピュータが接続されたネットワークの複合体です。大学（研究機関）、官公庁、企業等のネットワークから構成され、現在4,000万人以上と情報交換が可能です。

林産試験場では平成8年3月に中小企業庁補助金（事業費：11,850千円）を導入して情報関連機器の整備を行ない、5月より木材関連企業などの中小企業などに対してインターネットを利用した情報公開を行なっています。ここでは林産試験場のシステムの概要と公開している情報について紹介します。

林産試験場のシステムの概要

林産試験場のローカルエリアネットワーク（LAN）

の概要を図1に示します。ネットワークサーバとしてUNIXワークステーションを1台、端末用としてパソコンを3台導入したほか、ホームページおよびデータベース構築用としてウィンドウズNTマシンを1台を導入しています。

このLANを専用回線（64Kbps）で北海道大学と接続し、北海道学術インターネットワーク（HINET）経由でインターネットに参入しています。HINETへの加入および会費は無料ですが、参加機関は大学や試験研究機関に限られ、学術情報以外は公開することはできません。

一般の企業の方がインターネットに接続する場合は有料の接続業者（プロバイダー）と契約する必要があります。その他、機能は制限されますが、NIFTY-ServeやPC-VANなどのパソコン通信からも接続でき

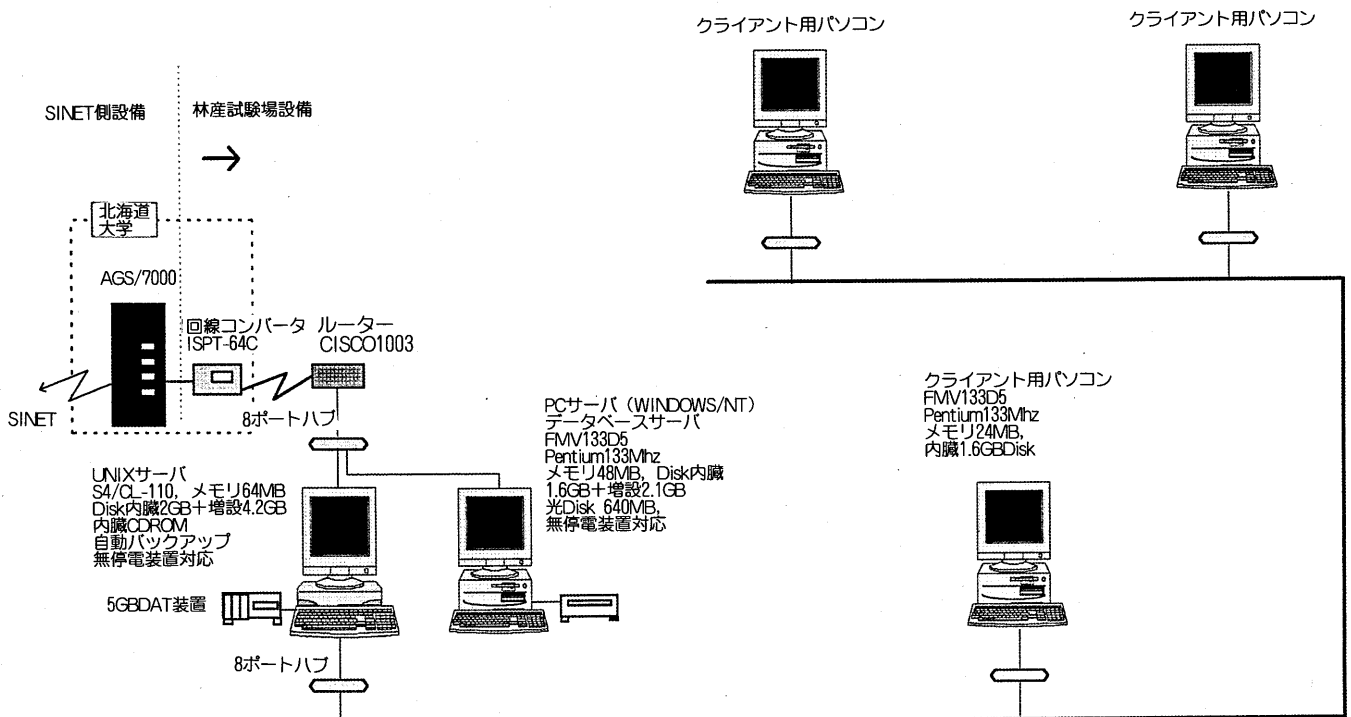


図1 林産試験場のLANの概要

- ・ ごあいさつ—林産試験場場長よりごあいさついたします。
- ・ 林産試の概要—林産試の概要や歴史、組織などを紹介しています。
- ・ 林産試の業務内容—林産試で行われている研究の概要、個々の研究の内容、また林産試で提供している様々な技術情報サービスの内容を紹介しています。
- ・ 林産試の刊行物の紹介—林産試で発行した刊行物をデータベースとして公開しています。
- ・ ギャラリー—林産試験場で開発した新しい製品の一部を紹介しています。
- ・ 林産試からのお知らせ—林産試だよりや林産試での講演会、講習会、研修予定などをお知らせしています。
- ・ 林産試への行き方—林産試までの交通機関と林産試の場内の案内図です。
- ・ 北海道木造建築物データベース—北海道の木造施設(木造建築・木橋)を紹介するデータベースです。

その他のサーバへのリンク

[北海道立林業試験場](#) | [農林水産省森林総合研究所](#) | [世界の林業林産研究機関](#) | [中小企業情報](#)

ご意見、ご感想をお寄せください。また、業務内容・お知らせに関するお問い合わせは、
林産試験場 wwmaster@fpri.asahikawa.hokkaido.jpへ



[English](#)

林産試の最近の話題

図2 林産試験場のホームページ

ます。

使用目的や接続の形態にもよりますが、最も安価な方法で接続する場合、市販のパソコン(ソフトが組み込まれているもの)とモデムの数十万円の設備投資で世界中の情報にアクセスすることが可能となります。ただし、プロバイダまでの電話料等の維持管理費は別途かかりますから、ご注意ください。

林産試験場が公開している情報

インターネットと言えばホームページと言うように、

最も一般的な情報収集の手段です。林産試験場が公開しているホームページを図2に示します。

ホームページとはインターネット上に置かれたWWWサーバが提供する情報をブラウザと呼ばれる専用ソフトで読み取り表示したもので、文字情報はもちろん、写真や音楽などを提示することも可能です。最近ではアニメーションを提供するものもあります。

インターネットがこれほどまでに普及したのは、ホームページのためといっても過言ではありません。

しかし、ホームページは入り口に過ぎません。林産

試験場では以下のデータベースを構築し、ホームページとリンクして林産技術の振興に役立てています。

北海道木造建築物データベース 収容件数51件
林産試験場刊行物のデータベース 1995年度分

これらの情報は市販のソフトを用いて構築され、随時更新することが可能ですので、もし、ご不満な点や記載すべき情報等がありましたら、ぜひご一報ください。ただし、先ほど述べましたようにHINET上に商業情報は載せることができませんので、企業の宣伝等のご遠慮ください。

その他、インターネットで可能なサービスとしては電子メールがあります。これは文字どおりネットワーク上のお手紙と考えていただいて結構です。

林産試験場では年間1,000件近い技術相談を受けています。最も多いものは電話によるものですが、電話では十分な対応ができない場合があります。

電子メールを利用すると瞬時に詳細なデータを送ることが可能です。ファックス等と異なり、そのデータを直接コンピュータで加工して印刷することもできます。また、発信者・受信者が任意の時間に読み書きできるので、担当者が不在でご迷惑をおかけすることもありません。

なお、ホームページ上に皆さんのご意見をお聞きするためのメールアドレスを提示しています。ホームページに載せる情報は随時更新していく予定ですので忌憚きたんのないご意見をお聞かせ願います。

おわりに

最近のインターネットに関する話題は過熱ぎみの感があります。情報の一大革命であり、インターネットさえ導入しますと、中小企業が大企業と同等に顧客を得ることができるなど、すべての問題が解決するように伝えられています。

実際にインターネットを利用して商売を行なっている中小企業もあります。しかし、現在のところ一般への普及率がまだ低いとため、パソコンソフトやレアアイテムなど特殊な購買層を対象にした商品に限られています。

ただし、パソコンを利用したインターネットのような情報伝達手段が、電話、ファックスに引き続き一般的なものになるのは間違いないものと思われれます。

林業・林産業界は国際化の波の中、非常に苦しい状況にあります。この時代に新技術や市場の情報を迅速に得ることは重要であると考えます。

もし、インターネットに興味がある方がおられましたら、ご来場の際には端末を開放しますので、ご連絡ください。

林産試験場のホームページURL

<http://www.fpri.asahikawa.hokkaido.jp/>

(林産試験場 企画課)